

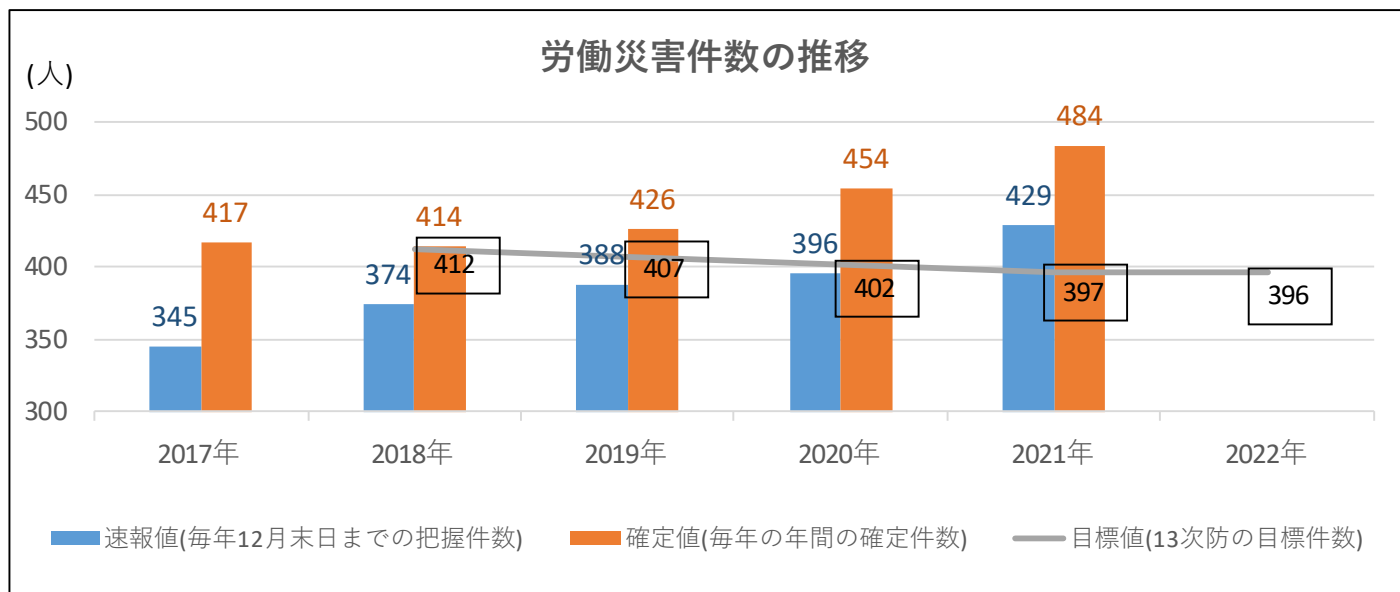
# 2021年（令和3年）江戸川労働基準監督署労働災害発生状況

～ 第13次労働災害防止計画4年目 ～

全業種

●件数 484件（前年から30件増加）

●死亡災害 3件（前年から1件減少）



## ※江戸川署における第13次労働災害防止計画 数値目標

①死亡災害を発生させない。②2022年の災害件数を396件以下とする。（途中年は前年よりも5件以上減少させる。）

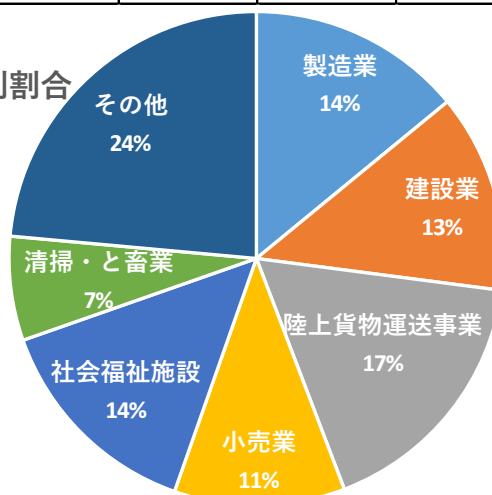
## ●主な業種別の増減、割合

増加業種 製造業、建設業、社会福祉施設

減少業種 小売業、清掃・と畜業

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2020年と2021年の比較
全業種	417	414	426	454	484	+30
製造業	52	54	32	45	68	+23
建設業	85	61	60	60	63	+3
陸上貨物運送事業	102	101	100	83	83	±0
小売業	34	49	68	56	54	-2
社会福祉施設	21	27	31	40	69	+29
清掃・と畜業	30	33	29	46	33	-13

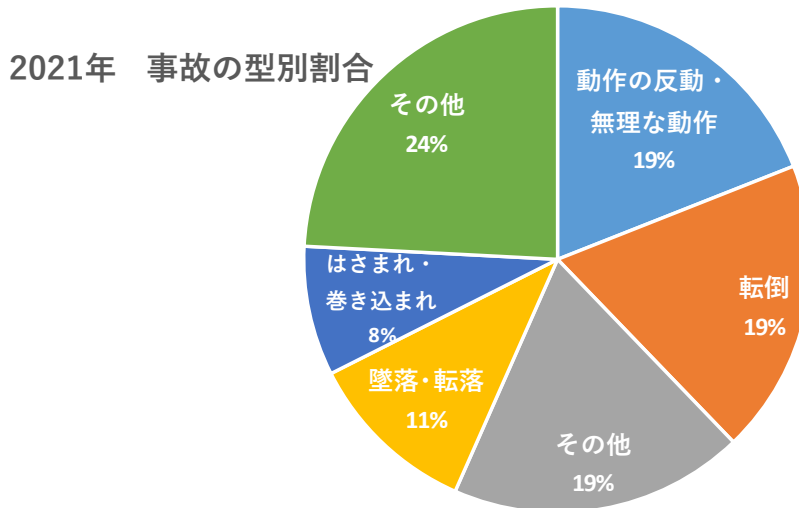
## 2021年 業種別割合



●事故の型別

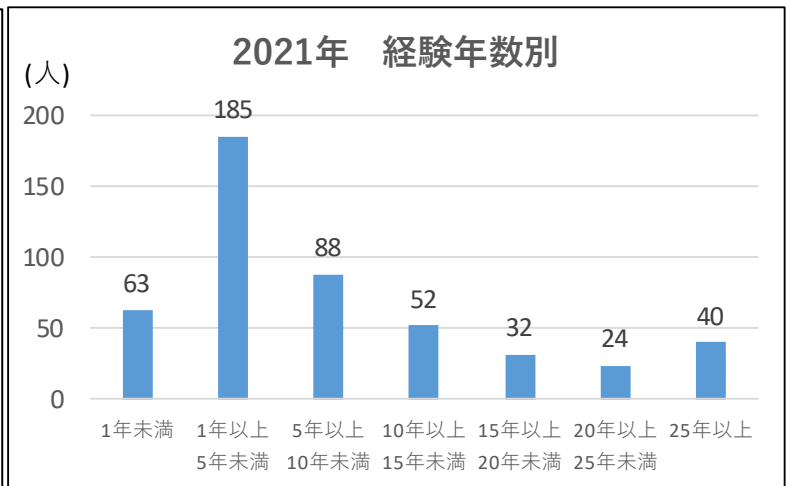
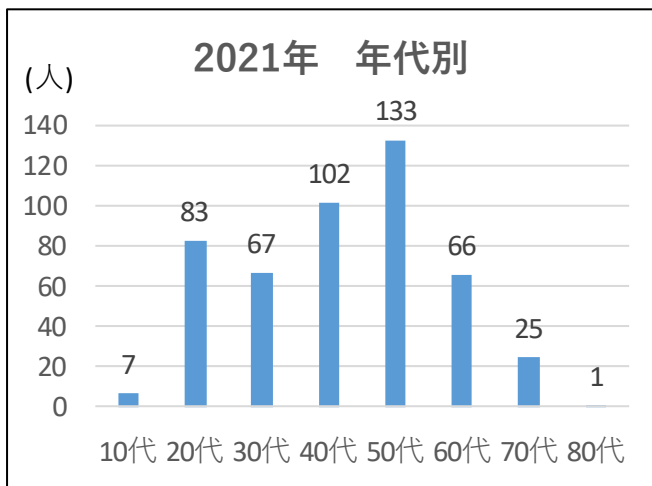
「動作の反動、無理な動作」、「転倒」、「その他」の順に多い。  
「その他」が大きく増加した。

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
動作の反動・無理な動作	83	49	60	76	92
転倒	58	91	90	107	91
その他	5	5	3	18	91
墜落・転落	94	82	89	74	53
はさまれ・巻き込まれ	38	39	43	41	40



●年代別、経験期間別

高年齢者（60代以上）が約2割を占める。  
経験期間5年未満が半数以上を占める。



【災害発生状況からみた今後の対策】

- ・労働災害の増加に歯止めをかけるため、製造業、建設業など危険有害業務がある業種及び清掃・と畜業を重点に指導を行う。
- ・「転倒」による災害防止のため、転倒しない職場環境作りを推進する。  
（「STOP！転倒災害プロジェクト」）
- ・高年齢者や経験の浅い労働者の災害防止のため、安全な作業手順の作成や適切な安全教育の実施を指導するとともに、労使双方の安全意識の維持、高揚を図る。